



・病院長が交代します

VMTHは、2018年開院以来、地域に根ざした二次診療機関として質の高い獣医療を提供できるように診療体制を確立してまいりました。教育機関でもあるVMTHは、2023年度になって学生の臨床実習が成立するための動物患者頭数である1日平均延20頭を達成しつつあります。これもひとえに皆さまのお力添えのおかげであり、感謝の気持ち一杯です。4月からは病院長を交代し、別の形で病院に貢献することとなりました。今後ともVMTHに変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。(2022-2023年度病院長 浅沼敏武)

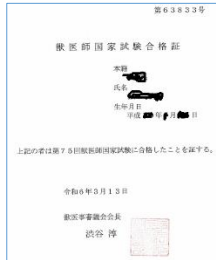
VMTH NEWS

・**獣医保健看護学科3期生 卒業研究発表会:** 2023年12月10日に4年生58名が36演題を発表しました。犬・猫・牛・ライオン・ゾウ・サル・ウサギ・マウスなど様々な動物種を対象とした多岐に渡る研究テーマに会場では熱い議論が繰り広げられ、獣医保健看護学科らしい良い発表会でした。先輩の雄姿は後輩への良い刺激となったようです。みなさんお疲れさまでした!(佐伯香織)



・**獣医研修員制度新設:** 4月から臨床研修のための有料研修獣医師制度が始まります。これは、所属する動物病院で働きながら、空いた時間にVMTHで専門診療の有料研修をしていただく制度です。研修期間や研修費などの詳細は事務室にお問い合わせください。これでVMTHに2つの研修獣医師制度が揃い、世間の獣医大学に少し近づきました。(K)

・**第75回獣医師国家試験:** 獣医学科1期生が2月14-15日に“国試”を受験しました。長くて困難な道のりではありましたが、結果は77名が合格。獣医師免許を取得し、4月からはそれぞれの専門分野での道を切り拓き、新たなステージで羽ばたいていくことでしょう。残念ながら不合格となった人たちも諦めずに、再チャレンジして欲しいと願っています。(下川孝子)



・**愛玩動物看護師国家試験レポート:** 2月18日に第2回愛玩動物看護師国家試験が実施されました。在学生の受験者数は42名(昨年受験者数:25名)、当日のトラブルもなく全員無事に試験を終えました。COVID-19で入学時から遠隔講義と一番大変な思いをした学生達ですが、最後の1ヶ月は学生室で追い込み勉強をしている姿がとても印象的でした。在学生合格率は全国平均より10%高い88%(37名)と大健闘!西日本の動物看護系大学ではトップ。学生達の頑張りに獣医学部教職員一同から大きな拍手を送ります。(宮部真裕)

・**家畜人工授精師資格取得第1号!:** 獣医保健看護学科3期生の勝部愛梨さんが、国家資格である家畜人工授精師(牛)免許を取得しました。勝部さんは、在学中に資格取得に必要な読み替え科目の単位を取得し、さらに出身地島根県の島根県立農林大学学校などで、1月から1か月の実習と法規、人工授精学の講習を受け、最終試験に見事合格しました。岡山理科大学獣医学部としては最初の資格取得者です。勝部さんのこれからのご活躍をお祈り

いたします。(久枝啓一)

・**学生の表彰:** 獣医学科臨床病理学講座6年の細井麻琳さんが、日本獣医師会の優等卒業生に輝きました。卒業論文発表会では臨床分野の最優秀賞にも選ばれ、これで2冠。これまでのたゆまぬ努力の結果得られた卓越した学業成績が高く評価され、学位授与式で表彰予定です。卒業後は伴侶動物診療分野へ。今後の活躍が期待されます!(下川孝子)



退職教職員

2024年3月に、8名のVMTH関係教職員が退職します。これまでの教育、研究、診療、病院運営への貢献に感謝申し上げます。

稲葉俊夫 教授 稲葉先生は、これまでに細胞病態学、再生医療分野で幅広い研究を行って来られました。現在も幹細胞を活用した治療法の開発など再生獣医療の実用化に向けて精力的にご活躍中です。先生は大阪公立大学名誉教授であり、長年に渡り獣医学教育に従事されました。岡山理科大学獣医学部においてもその経験と知識を学生や後進に伝えることに力を注いでいただきました。稲葉先生、長きに渡り、本当にお疲れ様でした。心よりご健勝をお祈りいたします。(後藤 聡)



岩田恵理 教授 岩田先生は、獣医学部開設時(2018年)に着任され、動物行動学や動物行動治療学をはじめとした数多くの科目を担当されました。また、イルカや今治の日本在来馬である野間馬といった多様な動物を対象とした研究にも取り組まれ、その成果は世界中の関心を集めています。教育と研究に奔走する中で、VMTHの行動治療科を立ち上げ、運営して下さった岩田先生に心からの感謝を申し上げますとともに、益々のご活躍を祈念いたします。(神田鉄平)



小川公二 特担助教 小川先生は2021年に獣医学科教員として赴任され、産業動物分野で学生指導に専念されました。前職は帯広畜産大学教員として、また南米パラグアイで現地指導など経験豊富な人材です。獣医学部では参加型臨床実習や産業動物臨床実習、研究室ゼミにご



尽力いただきました。趣味と実益を兼ねて 100 キロマラソンや各地マラソン大会はすべて完走、バイタリティ溢れる存在ですが、惜しまれながら退職となります。感謝申し上げます。(芝野健一)

北川 均 教授 北川先生は、獣医学部開設時から 6 年にわたり副学部長を務め、学部の発展に多大な貢献をされました。研究面では、循環器疾患に焦点を当て、特に犬糸状虫症の病態解明や治療方法に関して卓越した業績を残されています。個人的な話ではありますが、北川先生からは、大学とは何か、大学教員とはどうあるべきかについて多くの教えを受けました。これまでのご厚情に心から感謝し、これからもどうぞよろしくお願ひ申し上げます。(杉本佳介)



芝野健一 教授 芝野先生は大学卒業と同時に NOSAI 兵庫に奉職され、産業動物診療獣医師として 38 年間活躍されました。日々の診療業務に取り組むかわら臨床栄養学に関する研究で学位を取得、定年退職後は帯広畜産大学教授、その後岡山理科大学獣医学部に着任されました。VMTH では、毎週の定期検診を通じて地域農家と良好な信頼関係を一から作り上げることで産業動物臨床学教育が円滑に行える基盤を整えていただきました。「臨床・研究・教育」の具現化に力を尽くされた先生です。(篠塚康典)



山添和明 教授 山添先生は東京大学修士課程を卒業された後、東大外科研究生、動物病院勤務を経て、岐阜大学に助手として赴任されました。助手時代に学位を取得され、2007 年に教授に就任された後、2019 年に退職されるまで、外科学分野の臨床、研究、学生教育に多大な貢献をされました。2019 年に岡山理科大学獣医学部教授として着任され、獣医学部においても後進の指導を中心に臨床・教育にご尽力いただき、VMTH と獣医臨床分野がさらに発展していくための土台を作ってくださいました。(前田憲孝)



伊予田洋三 病院事務長 伊予田さんは、2023 年 4 月に病院事務長として VMTH に赴任されました。VMTH では、窓口から財務、企画、人の管理、会議対応など、多種多様な業務を前職で長年培われたご経験を活かし、着々と遂行して頂きました。また、色々な人々に対し心遣いをされている姿が印象的でした。伊予田さんは、一見、寡黙な印象を受けますが、情に厚い方だと感じています。1 年間、本当にお世話になりました。ありがとうございました。(清水夕貴)



佐伯かな 研修獣医師 かな先生は VMTH 初の研修獣医師として、麻酔科、腫瘍科を中心に、VMTH の診療が軌道に乗るまでの大変な時期を支えて下さいました。育休中でしたが、3 月で一旦、退職されることになりました。



かな先生のこれまでの努力と貢献に心から感謝いたします。ポストは空けておきますので、いつでも戻って来て下さいね。(下川孝子)

|||||

新入・復職教職員紹介

正林美和 愛玩動物看護師 VMTH では 4 年半ほどアルバイトの動物看護師でしたが、2 月より正規職員として勤務しています。私は、子供が二人（気が利く娘 7 歳とやんちゃ盛りの息子 5 歳）おり、仕事と家事子育てで慌ただしい毎日ですが、家族の協力と VMTH で勤務時間と体制を調整していただけることもあって、無事に働いています。最近の休日イベントとしてバレンタインデーのお菓子作りや、寒い公園に行って遊んだりしています。これからもよろしくお願ひいたします。

吉岡沙紀 愛玩動物看護師 2022 年の 8 月から産休・育休をいただいていたが、4 月から現役復帰します。初めての育児に奮闘しながら、親子とも日々成長中です。最近「ワンワン🐶」など言葉が出始め、可愛さも日々更新中。子供を病院（人の病院です）に連れて行った時に、「動かないように押さえるのが上手」と看護師さん（人の看護師です）に褒められました。日々の仕事の“保定技術”が意外なところでお役立ち。復帰したら休業中のブランクを埋めるように熟練の保定技術を生かして頑張ります。



コラム 1 グルメ in 今治 #9

今回は趣向を変えてイタリアン。今治は南宝来町のアルペロにやってきました。1 階は洋菓子店で、少し急な外階段を 2 階に上がる隠れ家のような店構え。中に入るとまるでフィレンツェの裏路地にあるトラットリアの趣（尚、当方イタリア共和国は未踏ながら・・・）。オススメのワインを楽しみながら、アラカルトで逸品をいただきます。パスタ、グリル、どれも美味ですが、中でも写真の牛タンの煮込みはしっとりとした肉感が口の中でほろほろと甘く蕩けて最高でした。次はラザニア・アル・フォルノかな。(朱 夏希)



VMTH の診療

VMTH の麻酔科は、現在 4 名体制で手術・検査の麻酔を担っています。綿密な麻酔の前評価と計画に基づき、患者にとってより安全で苦痛の少ない麻酔を心がけています。写真は、手術の後にお腹を切ったところが痛くならないように、局所麻酔（TAP ブロック）を行う様子です。動物は痛みを言葉で伝えられませんが、特に術後の痛みは不安感や合併症にもつながります。少しでも苦痛を減らすために、様々な鎮痛薬や局所麻酔法、ペインスケール（痛みの客観的評価法）を駆使して、術後の痛みフリーを目指します。(朱 夏希)



VMTH Case Report

外耳炎（耳道の炎症） 秋田犬、5 歳、未去勢雄。1 か月もの抗生剤投与と耳道洗浄で完治しない外耳炎と耳の

入口付近の腫瘍を理由に、VMTHに紹介されました。耳道内視鏡で覗いてみたら、腫瘍よりずっと奥の耳道内に異物（植物の種）あり。その場で取り出しました。腫瘍は良性でごく小さく、この子の外耳炎は植物の種が原因だったようです。現在は異常なく暮らしています。外耳炎はありふれた疾患ですが、原因を正確に把握しないと治らないことが多いです。簡単に治癒しない症例がありましたら、VMT Hにご紹介ください。（松田 彬）



気管虚脱 小型犬に多い呼吸器の病気として、気管が潰れることで、呼吸が苦しくなる「気管虚脱」があります。軽度の場合はお薬で症状を抑える治療を行います。重症な場合やお薬で改善しない場合は外科治療をします。ポメラニアンの子モちゃん（仮称、11歳）の頸胸部気管虚脱に対し、気管の内側から広げる“ステント”を設置しました。この手術は全身麻酔が必要ですが、ステントは口から挿入して設置するため、身体を切開する必要がなく、短時間で済みます。ステントが高額なことが難点ですが、気管虚脱に対する侵襲性の低い有効な治療法の一つです。（水谷真也）



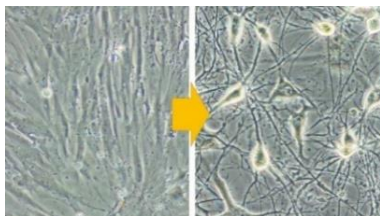
コラム2 和田動物看護師の釣り日誌 #10

2023年11月5日晴天、釣り好き獣医師達が沖に出ている噂を聞きつけ、マイ漁船「浜ゆう丸」で追っかけ。この日はどのポイントを探っても中り無し。シマノのバンデットにヒラマサ14号の1本針仕掛けで、活アジを泳がせますが竿がしなりません。しつこく誘い続けると、ん？中り？というより変な重み！なんと超高級魚のキジハタ\(^.^)/今治ではアコウと呼ばれ、もちろん高級魚。身はもっちりとした触感で甘みがあり、お刺身は最高、ちょっと贅沢に塩焼きも、もちろんアラは良い出汁が。私はアラの身を多めに残して炊き込みご飯。その日の釣果の報告では、私よりドヤ顔の人が…。今回は私のドヤ顔は出番なし。（船長 和田）



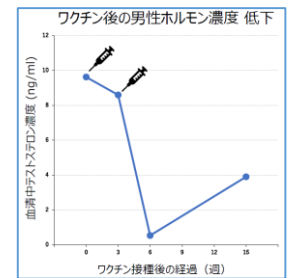
OUS-VET Article

Arai K, Saito F, Miyazaki M, et al.: Small molecules temporarily induce neuronal features in adult canine dermal fibroblasts. *Int J Mol Sci* 24(21): 15804, 2023. 外傷や出血によって脳や脊髄の神経細胞が死んでしまうと、そのあとに「瘢痕（はんこん）」と呼ばれる別の組織に置き換わり、神経細胞が機能しなくなります。皮膚のやけどで治りが悪いと、通称ケロイドと呼ばれる硬い組織に変化するのと同じ原理です。私たちは、様々な化学物質を用いて、左図のような瘢痕の細胞を右のような神経細胞に戻す手法を検証しました。この研究をさらに発展させ、瘢痕ができてもしっかりと注射で元の神経組織へと戻せる治療法を開発し、動物だけでなく、ヒト医療への発展が最終目標です。（新井清隆）



Goto A, Yoshida N, Nakada K, et al.: Efficiency of immunocastration with an anti-gonadotropin-releasing hormone vaccine on cryptorchid bulls. *J Vet Med Sci* 85(5): 551-556, 2023.

肉牛は性成熟前に肉質改善などを目的に去勢手術が行われます。免疫去勢は、ワクチン注射によって精巣の活動を制御し、オス化を防ぐ“手術を必要としない”去勢法です。牛では潜在精巣（精巣がお腹の中で停留し、陰嚢内にない状態）の手術が困難な症例は少なくありません。そこで私たちは潜在精巣牛におけるワクチンによる免疫去勢を行い、その有効性を示しました。図のように、ワクチン後の男性ホルモン濃度の低下（精巣の活動低下）が確認できます。潜在精巣牛はオス化の影響からその経済的価値は低く、免疫去勢により生産者の収益改善が期待されます。（後藤 聡）



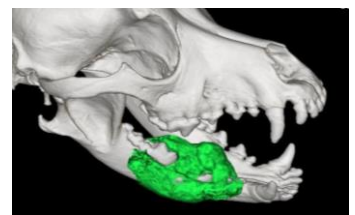
コラム3 動物がん研究者のスイーツリサーチ #5

出会いと別れの季節、春が訪れました。お世話になった方々のことを想いながら、お団子はいかが。今回は松山の道後公園のそば、「ゆけむりかふえ」の“彩りゆけむり団子”。4種のあんが乗ったお団子はまるでプロテインマーカー。道後公園はまだ涼しく、お団子の温かさとベストマッチ。泳動時間が著しく短かったのに、目的のタンパク質はいづこへ……。編集委員注：専門用語を一般の言葉で言い換えると「あまりのおいしさに、あっという間にマークされたはずの物質（お餅のことが無くなってしまいました）」の意味です（田川道人）



外科診療科の表と裏

今回の症例は11歳雑種犬のカヌレ（仮称）ちゃん。「ごはんが生きがい！」な彼女の下顎に、悪性度の高い“ほくろ”のがん（悪性黒色腫）ができてしまいました。がんがとても大きいため、手術での切除範囲を下顎の半分までに留めるか、術後の食餌に障害が残ったとしても顎全体を大きく摘出した方が良いか悩みました。飼い主さんと相談し、がんの炎症と感染を管理しながら、2週間後の手術時に最終判断をすることに。迎えた当日、がんは一回り小さくなっており、下顎の左半分を残すことができました。祈るように待っていた病理検査結果は「完全摘出」で、同時に摘出したリンパ節もすべて転移陰性でした。あー良かった。もちろん、術後も元気にご飯を食べています！（佐伯亘平）



VMTHの愛玩動物看護師

パテラ（膝蓋骨脱臼）や前十字靭帯断裂などの修復手術後はバンテージ（保護包帯）を巻いて管理します。整形外科の症例は若い子が多くて元気なので、バンテージの抜けは転倒や捻挫の危険性あり。尿や便の汚れは感染や皮膚炎の可能性があり、さ



らに通気性のないバンテージは、蒸れやすく内部温度が上がるので要注意。関節は動きがあり、被毛の走行に沿ってバンテージがずれ易い。しめつけることなく動きを適切に制限するのは、動物看護師にとって高等技術の一つです。元気に回復した姿を見ると嬉しい気持ちになります。(藤井好恵)

連携病院から

私の所属するクリニックはペットショップ併設で、子犬や子猫の健康管理が主な業務です。軽装備(顕微鏡と聴診器くらい)での診療をしていますので、先天性疾患等を疑い、詳しい検査や高度診療が必要な時には他の動物病院やVMTHが頼りです。獣医師は私1人で相談相手がないため、VMTHの先生へのメール相談もしばしば。いつも親身に相談にのっていただき、孤独感が解消され大変感謝しています。写真はVMTHで環軸不安定症の治療をして頂いたチワワで、現在1歳、スタッフが里親となり元気に過ごしています。(ペット Step クリニック 園部祥代)



コラム4 愛媛のお酒 #10

春めく季節の「華帯」(はなおび 純米大吟醸、今治・八木酒造部)。「着物の帯」をモチーフにしたお洒落な外観に愛媛さくらひめ酵母を使い室町時代の製法「水もと」で仕込んだ逸品。コクのある味わいに甘い香りが広がります。早採りわかめとぶりしゃぶをポン酢で食し、心も口の中もウキウキ春気分。今宵もまた“お祭り状態”。(齊藤文代、K)



産業動物診療科だより

子牛が産まれるときに肋骨が折れてしまうことは珍しくありません(難産のため人がロープなどで引っ張り出した子牛の20%でみられたという報告も)。今回の症例は生後4ヶ月の和牛子牛で、息をするたびゼーゼーと苦しそうにする(呼吸喘鳴音)ため診てほしいと依頼がありました。レントゲン検査の結果、右第1~3肋骨が骨折し、胸の内側に向けて突出したかたちで癒合し、気管を



圧迫していました(写真)。後日VMTHに搬入し、CT検査の結果を踏まえたうえで右第1~3肋骨切除術を行い、無事治癒しました。難産で子牛をけん引するときは、あわてず慎重に引っ張りましょう。(篠塚康典)

VMTHの診療機器

VMTHでは、X線受信部や撮影テーブルをフレキシブルに回転できる透視撮影装置、デジタルX線TVシステム(Ultimax-i、キャノン社)を使用しています。この装置は、撮影解像度が高く、低被ばくで、少量の造影剤で細かい血管の評価が可能。特に小型犬や猫などの診断に有用です。嚥下や吸気・呼気時の気管支の様子を立位で評価することも可能です。写真は撮影室での手術の様子で、門脈シャント結紮術や心血管



インターベンションなど術中造影が必要な手術でも活躍しています。(三河翔馬)

今治クラフトビール #3

今回は、ラカンセア酵母というふしぎな酵母で醸したストロベリーサワーエール。この酵母は、なんとアルコールと乳酸の同時発酵をするので、サワー感も味わえます。香りは桃みたい。乳酸菌と違って扱いが楽な面もありますが、それなりに気難しく、日ごろ使っている酵母より発酵がゆっくりと進むので発酵不良になってないかと毎日ビクビクしていました。そんなサワーエールにイチゴをふんだんに入れて甘酸っぱく、気持ちはすっきり春。(今治街中麦酒 吉崎)



編集の後始末

- ・寒暖の差が激しいこの頃ですがお元氣でしょうか。NEWS letter #10 をお届けします。この号は区切りの10号なので、特別に見開き4ページの拡張版。外部投稿もたくさんいただきました。どういうわけか、お酒関係の記事が多いのは編集長の責任です。ご容赦ください。
- ・VMTH NEWS letter は、2021年10月に#1を発行してから、2年と5か月で#10に到達。ゆっくりした歩みですが、徐々に部数が増えています。見ていただけるだけでありがたいことです。
- ・VMTHの愛玩動物看護科は、正林さんの正規採用と吉岡さんの復帰、さらに新卒者も採用予定と充実されつつありますが、他の病院と比べるとまだまだです。獣医学と動物看護学の教育・研究、診療をさらに充実させるためには、診療担当教員や研修医も増やし、日本を越えて世界に向かいたい。教育は人が人を教えて育てること。
- ・獣医学部は2018年に設置して6年が経過し、学部としての完成となります。VMTHにとってもひと区切りです。
- ・早くも6年が過ぎ、近い将来に迫り来るVMTHの高度診療機器更新の影に怯えつつ、準備を着実に進めていかななくては・・・
- ・6年制の獣医学科は2024年3月で一回り、岡山理科大学獣医学部として最初の獣医師国家試験を受験しました。受験者は、結果が良くても悪くてもこれで卒業。社会に出たら嫌でも頑張らざるを得ません。これからが本番です。
- ・4年制の獣医保健看護学科は、3回目の卒業と2回目の愛玩動物看護師国家試験。今回も高い合格率で、学生も先生たちも頑張りました。世間には動物看護師養成大学が増えつつあり、業界のさらなるレベルアップが期待されます。“今治”にも他大学に負けない優秀な学生が入学し、無事卒業して国家試験に合格し、VMTHに優秀な愛玩動物看護師が集まりますように。
- ・2024年3月に、私を含めて8名の教職員が退職します。去る人も残る人も、お互いに健康で平穩でありますように。
- ・38さんのイラストはハリネズミの「まめすけ」。ハリネズミは飼育しやすいらしく、最近は流行のぎざし。身体が小さくてかわいい。こんなのが部屋にいたら癒されますが、それなりに扱うのが難しそう。38さんのイラストもこれで一区切り。ありがとうございました。
- ・“自称”編集長Kはこの号でひとまず筆を置きます。新編集長TSのもと、これからも協力してNEWS letterの発行を進めていってくれると思います。編集長の無茶ぶりに、諦め半分で快く応えていただいた執筆業者や、たくさんご意見をいただいた皆様のご支援とご協力にお礼申し上げます。(K)

岡山理科大学獣医学教育病院

〒794-8555 今治市いこいの丘1-3
TEL: 0898-52-9001, FAX: 0898-52-9211
E-メール: vmth@vet.ous.ac.jp
URL: <https://www.vmth.ous.ac.jp>
編集委員 北川 均、下川孝子、朱 夏希、清水夕貴

